

分科会構成と第12次以降の研究テーマについて

- ① H30年度に事務局提案の各分科会研究テーマにてついてアンケートを実施。内容を整理して、分科会構成を検討する必要があるという意見があった。(下記参照)
- ② 令和2年度より夏の研究大会は2日間開催となる。運営の効率化を図るためにも現在の8分科会構成を、6～7分科会に整理する必要があるのではないか。
- ③ 全知長の分科会構成は各都道府県研究会、全知頭へも反映されているので、変更にあたっては第12次がスタートする令和5年度の2年前(令和2年度)までに決定、周知する必要がある。

H30第11次研究テーマに関するアンケート集計結果 (対象:都道府県代表)

分科会	よい	改善有	意見・改善案
第1 学校経営	37	3	
第2 教育課程 幼小中	37	3	
第3 教育課程 高	37	3	
第4 キャリア教育	37	3	
第5 小中学校への支援	35	5	現場では幼稚園、高等学校等への支援も行っているの、例えば「 <u>地域への支援</u> 」でもいいのではないか。
第6 関係機関との連携	34	6	就学支援に限らず、「 <u>ネットワークの形成</u> 」のみで良い。多様な機関との連携した実践が対象になる。／分科会5と隔年でも良い
第7 専門性の向上	36	4	専門性の向上が、人材育成の問題に特化されていてよいのか？「 <u>専門性の向上と人材育成</u> 」がテーマだとよいのですが…。／ <u>第8分科会「多様な障害への教育」の中にこのことは含まれないか。一本化してもいいのではないか。</u>
第8 多様な障害への教育	35	5	焦点化しにくいテーマでもあり、なくても良い。／ <u>高等学校が実施している通級学級への支援や連携についての内容があれば、センター的な役割がさらに充実していけるのではないか。</u>

★ 分科会変更案(7分科会)

第1	学校経営	第8の内容および防災関係を含める
第2	教育課程 幼小中	
第3	教育課程 高	
第4	キャリア教育	
第5	幼小中高への支援(センター的機能)	
第6	関係機関との連携(医療・福祉・労働等)	
第7	専門性の向上	第8の内容を含める

★ 第12次研究計画に合わせて分科会を再構成するためのスケジュール案

R1.11	第3回代表者研究協議会	分科会構成整理について提案 ⇒ 了承済み
	令和2年度は研究大会(鳥取)が中止となったため、研究計画は1年順延となった	
R3.5	第1回代表者研究協議会	分科会構成原案を提案 ⇒ 意見集約、原案修正
R3.6	総会	分科会構成についての承認
R3.11	第3回代表者研究協議会	第12次研究テーマについて提案 ⇒ 事務局にて原案作成
R4.5	第1回代表者研究協議会	第12次研究テーマ原案を提案 ⇒ 意見集約、原案修正
R4.6	総会	第12次研究テーマについて承認
R5	第12次3カ年研究計画スタート	

